

貸出しパネル一覧

【人権部門】

福山市人権平和資料館（2022年）

	タイトル	作成年	パネル	内 容
1	「ハンセン病と人権」 —長島愛生園の歩み—	2001年	B2 74枚	入園者の苦しみや、人権獲得の運動を紹介し、ハンセン病する正しい認識を深める。
2	「泣きながら 笑う日」 —スチール写真から—	2004年	B2 37枚	1976年、福山市を舞台に 映画「泣きながら笑う日」が制作された。難聴児をもつ若夫婦の愛と 苦悩を再現。
3	「情報化社会と人権」	2006年	B2	情報化社会は、インターネットを通して世界中の人々と情報のやりとりができる双方向の社会を実現し、私たちの生活は便利で豊かになったが、…？
4	「多文化共生社会」	2007年	B2 35枚	国籍や民族の異なる人々が、お互いの生活習慣や文化の違いを認め合いながら、同じ地域の 住民として生きることを提起。
5	「アイヌ民族の歴史と文化」	2008年	B2 31枚	「アイヌの起源」・「近世のアイヌ」・「日本の近代化とアイヌ」・「アイヌの生活と文化」・「アイヌの神々」など。
6	「橋のない川の世界」 —差別に抗して立ち上がった人々—	2009年	B2 48枚	東陽一監督の映画スチール写真と、その場面の解説を、小説「橋のない川」の表現で説明。
7	「沖縄の歴史と文化」	2010年	B2 47枚	「古琉球時代」から現在までの沖縄の歴史を、「古琉球」「薩摩による支配」「琉球から沖縄県へ」「米軍統治下の沖縄」現在の沖縄と基地問題」区分。
8	「人権が危ない！」	2011年	B2 37枚	戸籍の不正取得事件の問題と個人情報保護の取り組みを中心に、繰り返される現在の差別事件について説明。
9	「差別からの解放を求めて」 —広島県の融和運動・水平運動—	2012年	B2 29枚	水平社創立までの歴史をⅠ「四民平等と解放令」Ⅱ「差別解消を内部に求める Ⅲ「差別撤廃と融和運動」Ⅴ「水平社創立と広島県の水平運動」をまとめたものである。
10	削除 「人権尊重のまちづくり」	2013年	B2 30枚	2010年、市民意識調査のまとめと課題を分析し、「人権尊重と住民学習会」「部落問題の認知と人権侵害」「結婚についての意識」などにまとめる。
11	「障害者差別解消法について」	2016年	B2 17枚	2016年4月1日、「障害者差別解消法」が施行され、さまざまな「障がい」により社会参加を拒まれていた人があることを考える。
12	「日本国憲法と基本的人権」	2017年	B2 21枚	2017年（平成29年）5月3日、日本国憲法施行70年を迎えた。憲法改正論議が盛んになる中で、今一度、日本国憲法の意義と内容について確認し、基本的人権や平和主義など、憲法の3大原則の重要性を考える。
13	「私たちのくらしと憲法」 ～教科書無償の取り組み～	2018年	B2 36枚	今、子どもの貧困が問題となっています。進路保障が必ずしも平等でなくなっている現状があり、憲法記念日を節目として、教育の機会均等について、高知県の長浜地区の闘いについて学ぶ。
14	「世界人権宣言とホロコースト」 ～ユダヤ人差別が生んだ大量虐殺～	2018年	B2 36枚	ヨーロッパにおけるユダヤ人差別の歴史とナチスが行ったホロコーストの過程をたどりながら、世界人権宣言に書かれている人権項目とナチスの人権剥奪行為がどのように大量虐殺に関わったかを考える。
15	「あなたは大丈夫？」 ～考えよう！インターネットと人権～	2018年	A2 28枚	インターネットは便利一方で、それを利用した人権侵害も多く発生しています。部落差別をはじめとした人権侵害や、ヘイトスピーチ、暴力、誹謗、中傷…私たちが防いでいくことは何かを考える。
16	「知っていますか？ ところをつなぐ手話言語条例」	2019年	B2 33枚	手話を言語として認め、手話が日常的に使え、ろう者とうる者以外の人が共生できる社会を目指しています。福山市は「ところをつなぐ手話言語条例」を制定しています。福山市の取り組みについて紹介します。
17	人間回復への歩み ～ハンセン病を語り継ぐ～	2020年	A2 66枚	岡山県瀬戸内市長島には、かつてハンセン病患者の隔離施設として設置された国立療養所長島愛生園と邑久光明園がある。国の隔離政策は、1996年まで継続され、療養所の人々は故郷や家族との絆が絶たれた。懸命に生きた人々の足跡は、人間の尊厳をかけた闘いの歴史であり、人権が尊重される社会の大切さを語る。 ※展示には、別途著作権料が必要。

【平和部門】

	タイトル	作成年	パネル	内 容
1	「福山空襲」(各種, 5セット)		A2 15枚	B1判15枚(大規模施設展示用) *1セット A2判15枚(小規模施設展示用) *5セット
2	「ヒロシマ・ナガサキ」	2014年	A1 20枚	日本非核宣言自治体協議会制作 *1セット
3	「広島・長崎写真」		A2 52枚	出版社発行パネル
4	「原爆と人間」 (日本原水爆被害者団体協議会)		A2 40枚	核兵器が人間にどんなに危害を加えたか、いのち・からだ・こころ・文化の破壊に焦点。 2セット
5	「子どもの日記から見た学童疎開」 —戦争と子どもたち— Part I	2005年	B2 45枚	太平洋戦争末期、学童集団疎開が実施され大阪府福島区から約3000人の児童が福山に疎開、子どもたちの日記から見える戦時下の生活をパネル化。
6	「戦時体制のなかの学徒動員」 —戦争と子どもたち— Part II	2005年	B2 35枚	「決戦下の学徒動員体制」のもと、国民学校高等科の児童や中学校以上の生徒が根こそぎ労働に。
7	「福山空襲」 —米軍資料「Tactical Mission Report」	2005年	B2 34枚	米軍資料「作戦任務報告書」からわかる福山空襲の実相をパネルに作成。
8	「みーんな地球の人間だもの」 (絵本と福山の子どもが描いた絵)	2006年	B2 17枚	103人の漫画家が描いた絵本をパネルにし、子どもたちが描いた平和への想いを絵に。
9	「福山の戦争遺跡」Part I Part II —遺跡は訴える 命の尊さを—	2003年 2008年	B2 43枚	日清戦争から太平洋戦争まで、戦争遂行に関わって作られた遺構・遺物等を現地調査・撮影した写真で紹介。
10	「満蒙開拓団と少年たちの記憶」	2007年	A3 26枚	戦時中の満州開拓の写真と、漫画家が描いた作品を編集したもの。
11	「福山空襲遺跡」	2009年	B2 33枚	石仏・手水鉢・墓石・無縁仏etc。焼夷弾の直撃を受けて破損したり焼けて変色した石造物などをパネル化。
12	「福山空襲と戦時下のくらし」	2009年	B2 35枚	「福山空襲と戦時下のくらし」を焦点に、小学校・中学校の教科書内容と関連して作成。戦前の福山を写真で紹介。A/B2セット
13	「子どもたちの太平洋戦争」	2013年	B2 33枚	三原市在住の岡田黎子さんの著書。戦時中の生きざまを通して平和の大切さを訴える。大久野島での学徒動員、原爆救済など絵画で表す。
14	シベリア抑留体験原画(写真)	2016年	半切 28枚	寄贈していただいた「シベリア抑留の記録画」を視点に、悲惨な戦争と平和について考える。
15	「知られざる福山海軍航空隊」 —飛行場の建設から特攻隊の出撃まで—	2016年	B2判 10枚	大津野にあった「福山海軍航空隊」の飛行場建設と、そこから特攻隊員として九州・天草へ出発するまでを紹介。
16	「地図から消された島—大久野島」 …大久野島・動員学徒の語り…	2018年	B2 36枚	1929年(昭和4年)に陸軍直営の毒ガス兵器製造所として出発し、徐々に施設が整備されていき、この島で働いた動員学徒が体験したことを訴える。
17	「福山海軍航空隊 ～その誕生から特攻作戦への出撃まで～」	2018年	B2 35枚	福山空襲の目標の一つとされた福山海軍航空隊の始まりから、太平洋戦争末期の特攻作戦を明らかにするとともに、特攻作戦にかかわった人々の思いについて考える。
18	ふくやま平和カルタ	2019年	A2 47枚	今日、戦争を体験した人から直接証言を聞くことが難しくなり、戦争の記憶が薄まりつつある。カルタの読み句は、市民の皆さんの応募作品や戦争体験者の証言を踏まえて作成した。子どもたちや大人がカルタの遊びをとおして、戦争の記憶を繋ぎ、平和の大切さを考える。